認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 世界の中の日本

企画実施概要: ①企画内容

・NGO相談員制度、弊団体が実施しているODA事業(N連、JPF)の紹

介

②目的

・日本が実施するODA事業について理解を深める。

・海外を舞台に働く仕事があることに気づき、将来の職業選択の幅を

広げる。

③対象者および参加予定人数

6学年(22人)

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元/主催団体名 天童市立津山小学校

4 実施日時 令和3年2月24日 (水) 9:30~10:30

5 実施場所 天童市立津山小学校(山形県天童市)

6 実施報告・日本も昔外国に助けてもらってきたので、これからも国際協力を進

めていき、SDGsのゴール「1、2、3、6、10、16」が達成されるといい

なと思いました。

・今日の話を聞いて、僕たちの当たり前が外国では当たり前ではない ことが分かり、とても驚きました。僕もいつか外国へ行って支援をして

みたいと思いました。

7 写真



日本が国際協力を行う理由について説明する相 談員



IVYが活動している国を地図で探す子ども達

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 難民を助ける会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

①実施内容 企画実施概要:

青森県八戸市立町畑小学校の生徒への国際理解学習授業

②対象者および参加人数

青森県八戸市立町畑小学校の46名(5年生41名、教員5名)

2 出張者氏名 向井郷美

3 依頼元/主催団体名青森県八戸市立町畑小学校

4 実施予定日時 令和3年2月25日 (木) 10:40 ~ 11:25

5 実施場所 会場名:オンラインにて実施

参加した生徒からの感想は下記の通りである。 6 実施報告

●授業を通して、障がい者について二つの大事な事がありました。 一つは「理解する」と、もっと大事なことは「行動する」です。

●障がいがあるから、はだめだと思うのではなく、

障がいのある人も、1人の人間なので、一人ひとりをちゃんと

見ることが大切だと思いました。

7 写真



(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

HAPIC-HAPPINESS IDEA CONFERENCE 2021

企画実施概要:

①HAPIC企画内容: オンラインカンファレンスにて、グローバル課題解決の最前線で活躍するスピーカー約100名による、最新の社会課題動向や課題解決手法がわかる29のセッション、出展ページ、交流、オンライン懇親会を実施。

出展ページとして「JANIC事務局 & NGO相談員」を作成し、一般参加者からの相談受付、NGO相談員の広報を実施。

②対象者および参加人数:

●HAPIC参加者合計569人[参加者の割合:NGO/NPO41%、企業22%、政府(関係省庁・JICA)9%、自治体7%、学生6%、財団3%、研究機関・大学2%、運営者3%、その他7%]

●「JANIC事務局 & NGO相談員」出展ページへの訪問者数45アクセス、資料ダウンロード数19件。

●個別相談対応:9件

2 出張者氏名

堀内葵、水澤恵

3 依頼元/主催団体名

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)

4 実施予定日時

令和3年2月14日(日)・15日(月)・16日(火) 14:00~18:00

5 実施場所

会場名(EventHubオンラインプラットフォーム)

6 実施報告

①現在ビジネスを通じて日本語教育を行っている企業の方からの、国際協力として日本語教育を行うための団体設立の方法や教育系のNGOについて紹介し、具体的な行動の一歩の手助けとなったとのお声を頂いた。

②海外での知見を活かした国内の外国人支援を開始した団体から相談を受け、有識者を紹介し、具体的な繋がりを作ることができた。

③医薬品開発の企業経験から現在はアカデミアに務めている方へ、 日本の市民社会の役割や、企業市民として本業を通じた社会課題解 決やNGO連携の可能性について説明し、今後の研究などに有益とな る情報提供ができた。

7 写真



(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 静岡県立浜松湖高等学校佐久間分校における講演会

企画実施概要: ①実施内容

対象校の「人権教育」の授業において、貧困や難民、NGOの活動等につ

いて講演を行った。

②対象者および参加人数

静岡県立浜松湖高等学校佐久間分校の1・2年生 計28名

2 出張者氏名 古谷 小夏

3 依頼元/主催団体名静岡県立浜松湖高等学校佐久間分校

5 実施場所 静岡県立浜松湖高等学校佐久間分校 会議室:オンラインにて実施

6 実施報告

実施校の「人権教育」のテーマに沿い、様々な国の課題を紹介し、時には十分な食事や教育等の機会さえ確保することが難しい状況があることを伝えた。日頃、生徒にとっては世界の課題について現場の生の声を聞く機会は限定的であり、さらに紛争や難民という馴染みのないテーマについて説明をするにあたり、活動地で撮影した写真やインタビュー動画等を交え、具体的なイメージが持てるよう工夫した。参加者の中には講演で触れたイエメンでの紛争のことを初めて知ったという生徒もおり、「自分が学校に通え、食事ができることは幸せなことだと実感した」という感想も聞かれた。また、国際協力への一歩を踏み出す方法としてボランティア活動や言語を学ぶ等を提案したところ、街頭募金の活動に関心がある生徒も見られ、今回の講演を通じて、紛争や貧困といった厳しい環境での暮らしや様々な課題について、理解を深めるとともに、自身ができることを考える

きっかけを提供する事ができた。

7 写真



感染症予防のため、遠隔での実施となったが、参加者との距離を縮められるよう他国の文化や食べ物についてクイズ等も行った。



参加した生徒は、途上国の学校や生活の様子を 目の当たりにして、自身の生活との違いに驚くとと もに、関心を高めている様子が伺えた。

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

恵那市立中野方小学校における講演会 企画名:

企画実施概要:

恵那市立中野方小学校の「社会科」の授業において、「世界各地で日本が

行っている国際協力」というテーマで講演を行う。

②対象者および参加人数

恵那市立中野方小学校6年生の児童10名、教諭1名

2 出張者氏名 認定NPO法人アイキャン 西坂幸

3 依頼元/主催団体名 恵那市立中野方小学校

令和3年2月19日 (金) 4 実施予定日時 10:40~11:25

恵那市立中野方小学校(住所:岐阜県恵那市)オンライン実施 5 実施場所

小学校6年生を対象に世界各地で行っているNGOの活動として、路上の子 6 実施報告 どもたちと紛争地域の子どもたちについて、オンラインで講演を行った。参加した児童からは「私たちの生活が、海外と関係している事を初めて知っ た」などの声が聞かれ、国際協力活動自体における理解を深める事がで きた。また「世界には食べる事ができなくて亡くなる子どもがいると知って、 食べ残しなど無駄のないようにしようと思った」等、自分の行動を改めたい

という感想もあり、知るだけでなく行動に移そうとする意識を啓発できた。 質疑応答では、NGOの仕事における困難、活動資金、活動地の選び方な どについて質問を頂き、NGOの活動内容だけではなく、NGOの運営や方

針等に関しても関心が高まった事が伺えた。

7 写真



れている為、外に目を向け、少しでも関心を持って もらえるよう写真を多数使って実施した。

地方に住む児童にとって、世界と関わる機会は限らオンラインでの実施となったが、少人数のクラスで ある特性を活かして、生徒に質問を投げかける 等、参加型の講演となるように実施した。

(写真1) (写真2)

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報 告します。

記

1 企画名および企画概要

HAPICブレイクアウトセッション「"経営の視点"で考える国 企画名:

際協力セクターの未来」でのパネルディスカッション

企画実施概要:①実施内容

Happiness Idea Conference(HAPIC)のブレイクアウトセッション 「"経営の視点"で考える国際協力セクターの未来」にパネリ ストとして登壇し、経営、財務、組織などの観点からみたNGO についてオンラインでお話しする。

②対象者および参加人数 NGOの経営層を中心としたNGO関係者、103名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

依頼元/ 認定NPO法人国際協力NGOセンター(JANIC) 主催団体名

実施日時 令和3年2月14日 (日) 17:15~18:45

認定NPO法人国際協力NGOセンター(JANIC) HAPIC特設サイト 実施場所 5 内にて(オンラインにて参加)

企画名の講座にパネリストとして登壇した。冒頭、Abeam Consulting 実施報告 6 から「日本の社会課題解決における現状と将来像」に関するWhite Paperの調査報告があり、その後、下記のテーマについてディスカッ ションを行った。

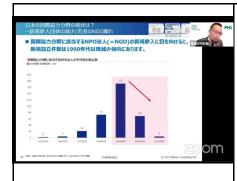
> テーマ①中堅~老舗NGOが継続的に成長するための新陳代謝の ポイント

テーマ②NGOが目指すべき「運動性」と「事業性」の両立 テーマ③将来像に向けた「コレクティブ・インパクト」の実現

1 100

NGO相談員としての知見を提供し、さらに経営を未来志向でディス カッションした。参加者も100名を超えており、終了後に相談が2件あ るなど、インパクトを残せたと思われる。

7 写真



NGO相談員としてテーマごとにコメントを パネルディスカッションの様子、NGOの経営につ いてディスカッション、質疑応答を行った

した

(写真1) (写真2) PHD

zoom

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: FACILに登録する翻訳者、通訳者向けのオンライン研修「医療通訳× 国際協力:外国人として日本に暮らすということ」における講演

企画実施概要:①実施内容

上記の研修プログラムにて、SDGsの概要、国際協力NGOとしての在

日外国人支援について講演を行う。

②対象者および参加人数

FACIL登録通訳者、翻訳者、コーディネーター 37人

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元/ 主催団体名

特定非営利活動法人多言語センターFACIL

4 実施日時 令和3年2月21日 (日)

14:00~16:00

5 実施場所 オンライン (Z00M) にて実施

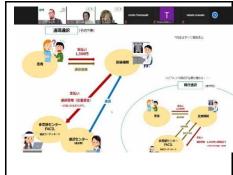
6 実施報告

企画名の講座に講師として登壇した。医療通訳者の方達は「語学を活かしたい」という想いで参加されていることが多く、実際に通訳に行き在住外国人の現状や悩みを知り、戸惑われる方も多いとのこと。そこでSDGsや出身国の状況、またどういった状況で来日しているのか、その背景などを学ぶという狙いであった。

坂西はNGO相談員としてSDGsの概要、特に関連するGoal8「働きがいも 経済成長も」を重点的に説明した。その上でベトナムやネパール、バング ラデシュの出身国の状況や来日の背景などを報告した。

オンラインで実施し、時間的な制約もありフィードバッグは得られなかったが、医療通訳という多文化共生の最前線におられる方々にNGO相談員として講義ができたことはそれなりのインパクトがあったと思われる。

7 写真



NGO相談員として医療通訳者の方に SDGs及び国際NGOの活動を講演した



終了時の集合写真。医療通訳に関わる方々、言語 は英語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、ポル トガル語、中国語など。

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 第一学院高等学校岡山キャンパス プロジェクト型学習

企画実施概要: ①実施内容

国際協力、SDGs、ボランティアに関する講演

②対象者および参加人数

第一学院高等学校岡山キャンパスの生徒21名(対面15+オンライン6)

同 教師2名

2 出張者氏名 白幡利雄

3 依頼元/主催団体名 第一学院高等学校岡山キャンパス

5 実施場所 第一学院高等学校岡山キャンパス(岡山市北区錦町1-1 岡山駅前ビル5F)

6 実施報告 参加した生徒は、「世界への貢献」をテーマに、ボランティア活動などをプ

ロジェクトとして立ち上げていくことを考えている。そこで、実際の活動例などを知ることで視野を広げ、より具体的な取り組みにしていきたいという希望をもっていた。当日は、支援先の選定方法や資金集めに関することや、自分たちで検討している教材は国際協力の現場で活用が可能か、といっ

た実践的な質問があり、その場で直接回答することができた。

7 写真



国際協力やSDGsに関して話をするNGO相談員



質問を受け、回答するNGO相談員

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 福岡市役所ロビーにおけるパネル展でのNGO相談員ブース出展と運営

企画実施概要: ①実施内容 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)が実施する加入団体活動

紹介パネル展にて、NGO・国際協力についてのパネルを設置。新型コロナウイルス感染対策を実施した上で展示パネルの説明および訪問した一般市民から

国際協力に関する相談を受け付けるブース運営を行う。

②目的

一般の方にNGO・国際協力への興味関心を持つきっかけを作る。福岡市内で

活躍している国際支援の団体の活動の周知を行う。

③対象者および参加人数:福岡市役所ロビー訪問者。(計:623人)

FUKU-NETに加盟し国際交流・国際協力に取り組む団体。

2 出張者氏名 原田君子/松﨑浩平/小原正道

3 依頼元/主催団体名 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

2月6日(土)~11日(木) 9:00 ~ 20:00

5 実施場所 会場名: 福岡市役所本庁舎1Fロビー(福岡市中央区天神1丁目8番1号)

6 実施報告 福岡市役所の一階多目的スペースにて、国際協力についてのパネル展が開催

され、福岡市の国際協力団体(計13団体)が集まり、パネルやチラシで各団体の紹介を行った。NGO福岡ネットワークはパネル展の実施に合わせて、NGO相談員出張相談受付ブースを設置。国際協力に関する情報の補足説明などを行った。九州地域のNGO団体の活動やODA、SDGsについての質問が多く寄せ

られた。

7 写真



FUNNブースに訪れた一般市民の方が見学している様子



他団体のブースの様子

(写真1) (写真2)